

平成27年度予算がまとまりました

依然として厳しい財政状況、
赤字額は前年度より増加の約2億円

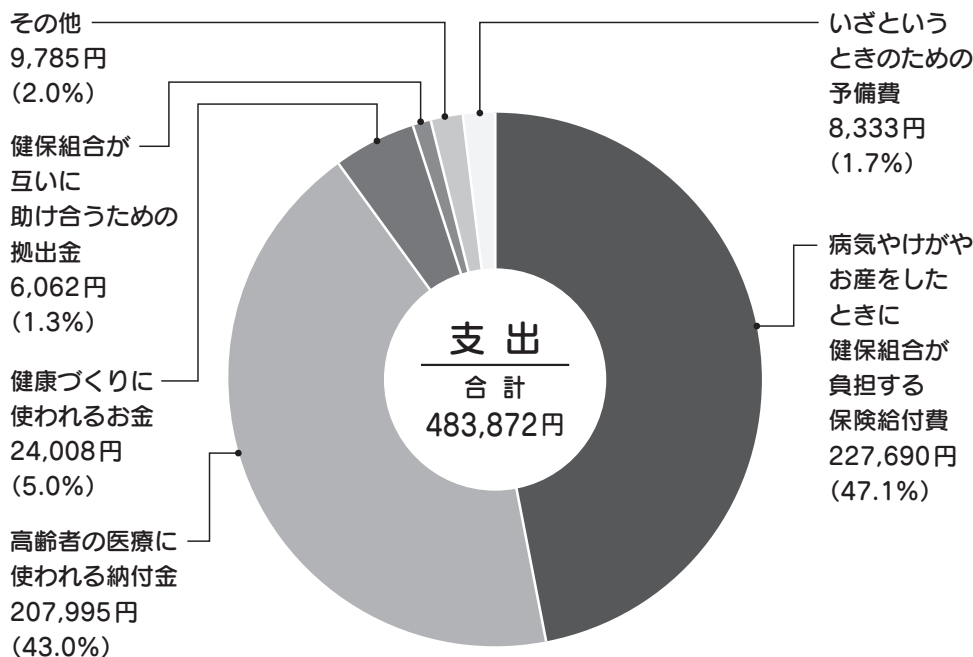
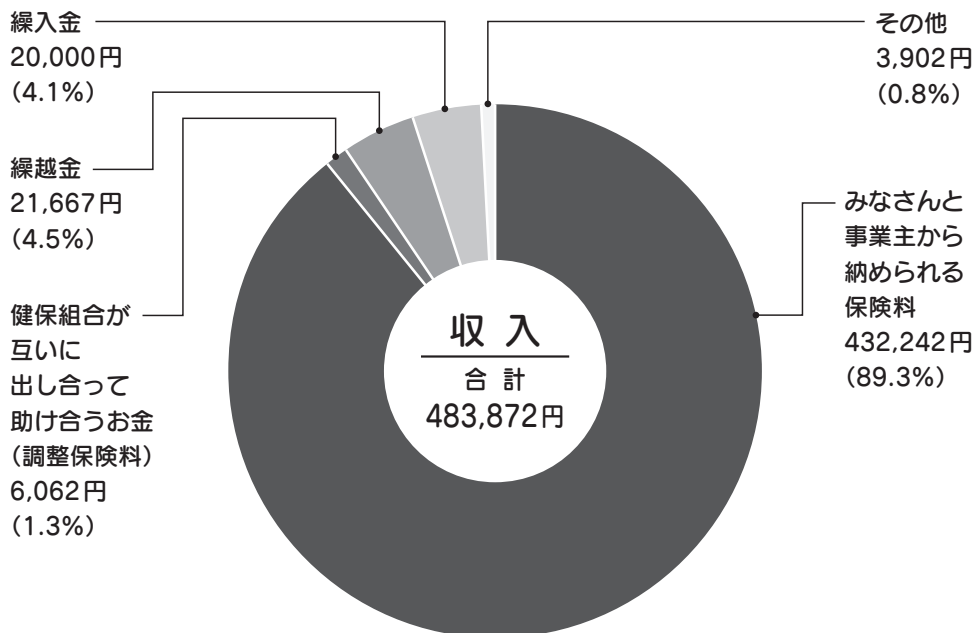
2月12日に開催された第105回
組合会において、平成27年度の予
算が可決・承認されましたので、
お知らせいたします。

別途積立金からの繰り入れ
などで収入不足分に対応

現在、日本経済は「緩やかな回復基調が続いている」といわれているものの、全国の健保組合財政においては、収入の柱となる保険料収入が伸び悩んでいます。一方、高齢者医療制度に対する負担は、高齢者医療費の増加や制度構造の問題もあり、健保組合の負担は増大し、財政を圧迫させる大きな要因となっています。このために多くの健保組合では、保険料率を引き上げて財政運営を行っているのが実情です。

当健保組合においては、平成27年度は保険料率を千分の94に維持し、予算編成を行い、総額29億323万円を計上しました。経常収入は25億9966万円、経常支出は28億1614万円となり、実質的な収支では2億1648

被保険者1人当たりでみた収支予算（健康保険）



※四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります。

◎平成27年度収支予算概要

健康保険

【収入】

科 目	予算額(千円)
みなさんと事業主から納められる保険料	2,593,449
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	36,370
繰 越 金	130,000
繰 入 金	120,001
そ の 他	23,413
合 計	2,903,233

【支出】

科 目	予算額(千円)
病気やけがやお産をしたときに 健保組合が負担する保険給付費	1,366,142
高齢者の医療に使われる納付金	1,247,968
健康づくりに使われるお金	144,045
健保組合が互いに助け合うための拠出金	36,370
そ の 他	58,708
いざというときのための予備費	50,000
合 計	2,903,233

介護保険

【収入】

科 目	予算額(千円)
みなさん*と事業主から 納められる介護保険料	256,095
繰 越 金 等	12,065
合 計	268,160

【支出】

科 目	予算額(千円)
国に納める介護納付金	264,146
介護保険料還付金・積立金等	264
予 備 費	3,750
合 計	268,160

※介護保険第2号被保険者たる被保険者等

万円の赤字を見込んでいます。26年度の予算編成時には赤字額を1億2029万円見込んでいましたので、27年度はさらに悪化していることとなります。

収入では、財源のほとんどを占めるのが、みなさんと事業主から納めていただく保険料収入で25億9345万円を見込みました。前年度より1372万円の増加となりますが、保険料収入だけでは支出をまかなえないため、別途積立金からの繰入れ1億2000万円、繰越金1億3000万円などで不足分に対応します。

支出においては、みなさんのけがや病気の医療費、出産などの給付金として保険給付費が13億6614万円となり、同比3698万円の増加を見込みました。

前期高齢者納付金や後期高齢者支援金など、高齢者の医療費として負担する納付金については、同比7183万円の増加の12億4797万円となり、これは保険料収入の約5割を占めています。

このほか、みなさんの健康づくりのための保健事業費は、前年度とほぼ同額の1億4405万円となりました。

27年度は、国が推し進める健康施策「データヘルス」が始まりますが、これにともない、当健保組合は健診事業の充実をこれまで以上に図るなど、健康づくりに役立つ事業を積極的に実施してまいります。

当健保組合としては厳しい情勢のなかでも、さらなる財政健全化に向け取り組んでいくとともに、みなさんへの健康づくりは引き続きサポートしてまいります。みなさんも各種事業をご利用いただき、毎日を健やかに過ごしてくださいよう、お願いいたします。

**介護保険料率を
千分の15へ引き下げ**

当健保組合が27年度に国に納める介護納付金は、同比579万円減少の2億6415万円となっています。これをもとに介護保険料率を算出した結果、前年度の千分の15・6から千分の15・0に引き下げとなりました(負担割合は事業主・介護保険第2号被保険者の折半)。みなさんから納めていただく介護保険料は同比863万円減少の2億5610万円を見込んでいます。